

平成 26 年 9 月 16 日

愛知県に本拠を置く地方銀行として初となる
「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の利子補給金制度の活用について

名古屋銀行（頭取 中村 昌弘）は、国際戦略総合特区『アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区（以下「特区」と略）』内の下記の取引先企業 2 社の対象事業について、特区の利子補給金制度の活用申請を行い、愛知県より「総合特区支援利子補給資金対象事業者確認書」並びに、内閣府より「推薦通知」を受理いたしましたのでお知らせいたします。

航空機産業は、「品質の安定性」や「安全性の確保」が非常に高いレベルで求められ、高度な技術力が求められる産業です。この度、両社の事業内容・設備計画は、国から特区計画に合致しているとの認定を受け、両社は業界特有の高度な要求に対し更なる生産体制の実現に取り組まれます。

名古屋銀行は、両社の当対象事業に対して本年度内に資金調達のサポートを行っていく予定です。

なお、総合特区の利子補給金制度を活用した取り組みは、愛知県に本拠を置く地方銀行としては初めてとなります。

名古屋銀行は、今後も航空・宇宙産業を営む事業者の皆さまを応援させていただくとともに、地域経済発展のお役に立たせていただけるよう、努めてまいります。

記

事業者名	木下精密工業株式会社	代表者	木下 治彦
取引店	黒川支店	資金使途	設備資金
【事業概要】 同社は、永年工業用のマシン部品製造を行っている会社です。今回の設備導入により、航空機部品に使用される難削材の加工をより高い精度で安定生産することができるようになります。			

事業者名	渡辺精密工業株式会社	代表者	寺西 正明
取引店	稲永支店	資金使途	設備資金
【事業概要】 同社は、高度かつ複雑な形状が要求される最先端の航空機部品加工向けの治工具を製造している会社です。航空機業界特有の熟練工の技術頼みの生産現場の改善に向け、新たな設備導入によって、今まで以上に高精度、且つ安定品質、短納期生産の体制が確立できるようになります。			

（五十音順にて掲載）

※ 「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」について

- ・平成 23 年 6 月に成立した総合特別区域法に基づく総合特別区域の一つで、アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成することを目標としています。

※ 「総合特区支援利子補給金制度」について

- ・総合特区の推進に資する事業を行う方が、国の指定を受けた金融機関から必要な資金を借り入れる場合に、国が該当金融機関に利子補給金（補給率 0.7%以内:5年間）を支給します。

※ 「利子補給金の指定認定機関」について

- ・平成 26 年 8 月末現在、愛知県内の地方銀行で認定を受けているのは名古屋銀行のみとなっております。